

1. 皮膚消毒

パックを開封する前にカテーテル挿入部および周囲皮膚の消毒を行います。

2. パックの開封

マキシマルバリア プリコーションパック（以下「パック」と表記）を開封します。
パック内容物の落下や、汚染の可能性があるため、不安定な台の上や狭い場所でのパック開封は行わないで下さい。

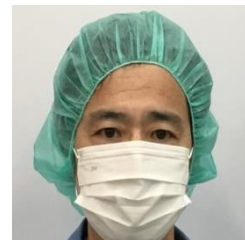


3. マスク・キャップの装着

パック内からマスク・キャップを取り出します。この時、他の内容物に触れないように注意して下さい。

マスク⇒キャップ

の順に装着します。
装着は他の内容物を汚染することを避けるため、開封したパックから離れたところで行います。



4. 手指衛生

アルコール製剤で衛生的に手指衛生を行います。



5. ガウンの装着

- ① 介助者は清潔操作に注意して、中のガウンに触れないようにラップ紙を開封し、術者（カテーテル挿入者）へ渡します。



注）介助者は中のガウンに触れない

- ② 術者はガウンの上下を確認（「L」の文字上方向が首側）し、介助者からガウンを受け取ります。



注）ここに書かれている「L」の文字を確認

- ③ 両手をそれぞれ袋状になっている部分に差し込みます。



- ④ そのまま腕を押し進め、胸を張るようにするとガウンが広がります。



- ⑤ 介助者は術者の背中側に立ち、外側を汚染しないように中に手を入れて袖を引張ります。



ここから手を入れて袖を引張る。

- ⑥ 介助者は首のメカニカルファスナーと首・背中側の白い紐を結びます。この後、術者は滅菌手袋を装着します。



先に腰部の白い紐を結びます。

- ⑦ 術者はガウンの前の紐の固定紙を両手で持ち、左側の紐を外します。固定紙の色のついていない部分を介助者へ渡し、術者はそのまま左回りし、前側を紐で結ぶと装着が完了です。

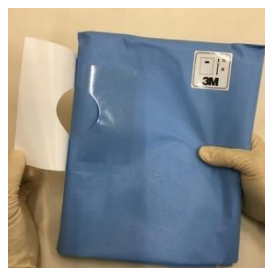


6. ドレープの展開

- ① 介助者はラップ材を開封後、ドレープを術者に渡します。その際、中のドレッシング材を清潔な場所に置いておきます。

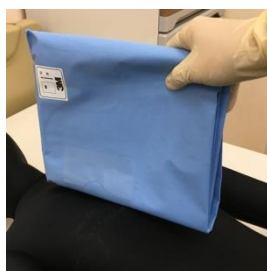


- ② ドレープの穴の部分の剥離紙を剥がします。ラベルに表示されている向きを確認してください。



短：頭側
長：足側

- ③ カテーテル穿刺部が穴の中心にあたるよう、ドレープを折った状態で粘着部を皮膚にあてます。



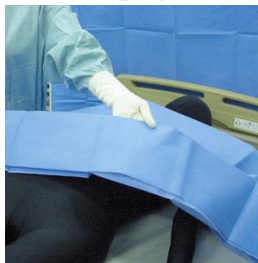
- ④ ドレープの折りの部分の中央を開いて、粘着部分をしっかりと貼りつけます。



- ⑤ ドレープを左右に広げます。



- ⑥ ドレープを足側に広げます。



- ⑦ 頭側に広げます。



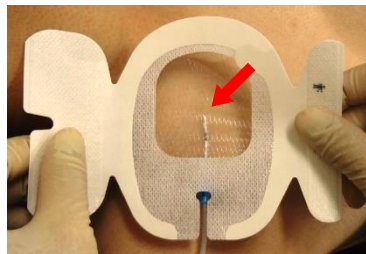
- ⑧ ドレープを完全に広げて完了です。



7. カテーテルの挿入・ドレープ除去

8. ドレッシング材の貼付

- ① カテーテル挿入部位にドレッシング材のフィルム部分の中央を合わせ、カテーテル周囲を良く密着させます。



- ② 周囲をしっかりと密着させ、全体を貼付した後、本品を押さえながらゆっくりとライナー紙（表面）のフレーム部分を剥がします。



- ③ 付属の固定用テープをカテーテルの下からかみ合わせるように貼付し、記録用ラベルに日付などを記入して観察の妨げにならない位置に貼付します。

